

日本遺産認定

10周年記念

「鯨とともに生きる」

周遊スタンプラリー

熊野灘沿岸地域の古式捕鯨の歴史と文化を巡る

河内島(串本町)



孔島(新宮市)



鹽竈神社(那智勝浦町)



燈明崎
山見台跡
(太地町)



2026年8月1日 土
→ 2027年1月31日 日

今年認定10周年を迎えた日本遺産「鯨とともに生きる」の構成文化財や
関連スポットなどを巡ろう!

獲得したスタンプ数に応じて景品が当たる抽選に応募できます。

熊野灘地域の捕鯨の歴史と鯨とともに生きている文化を巡ってみませんか?



参加方法

アプリの
ダウンロード、ツアーへの
参加はこちら

1 アプリ「SpotTour」をダウンロード!

無料アプリ「Spot Tour」からスタンプラリーに参加できます。

2 アプリ右上の検索欄から 「鯨とともに生きる」と検索!

3 「ツアーに参加する」をタップ!

4 各スポットを巡って獲得した スタンプ数に応じて抽選で賞品をプレゼント!



参加費
無料!

期間内にアプリ内のコース画面から特典ボタンをタップして、「特典を見る」を選択。
特典応募フォームに必要事項を入力して応募しよう。

18
スタンプ

3名様

エリア内特産品
詰め合わせ
(10,000円相当)

13
スタンプ

10名様

エリア内特産品
詰め合わせ
(5,000円相当)

8
スタンプ

15名様

エリア内特産品
詰め合わせ
(3,000円相当)

3
スタンプ

50名様

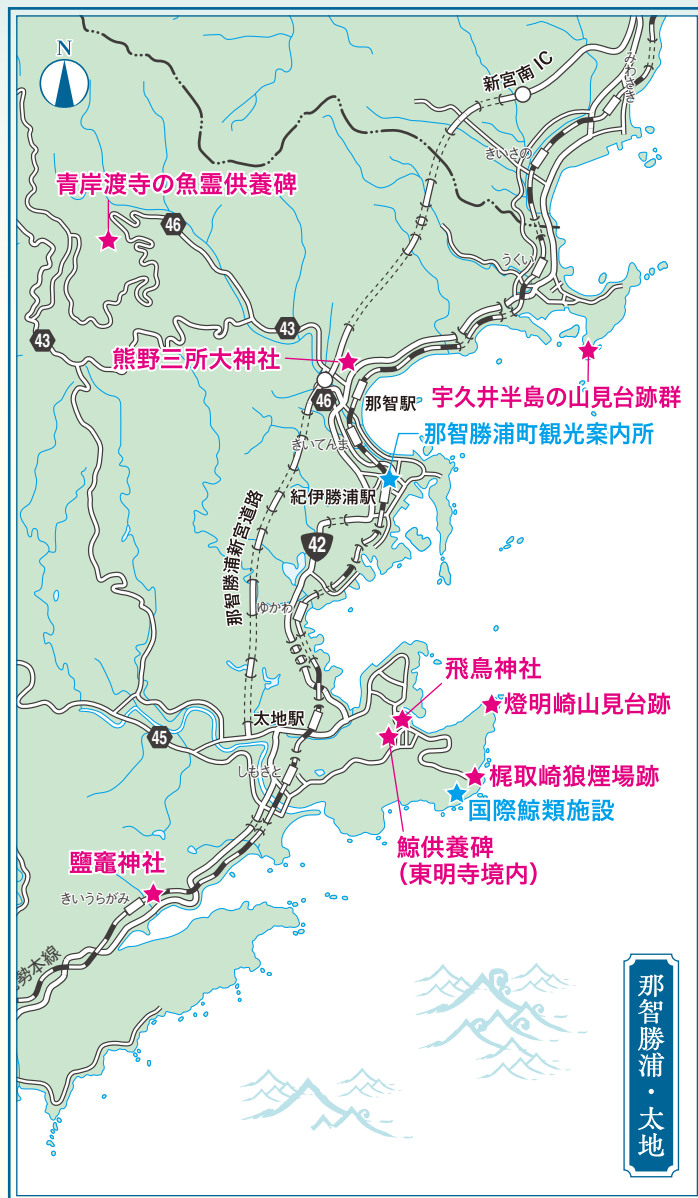
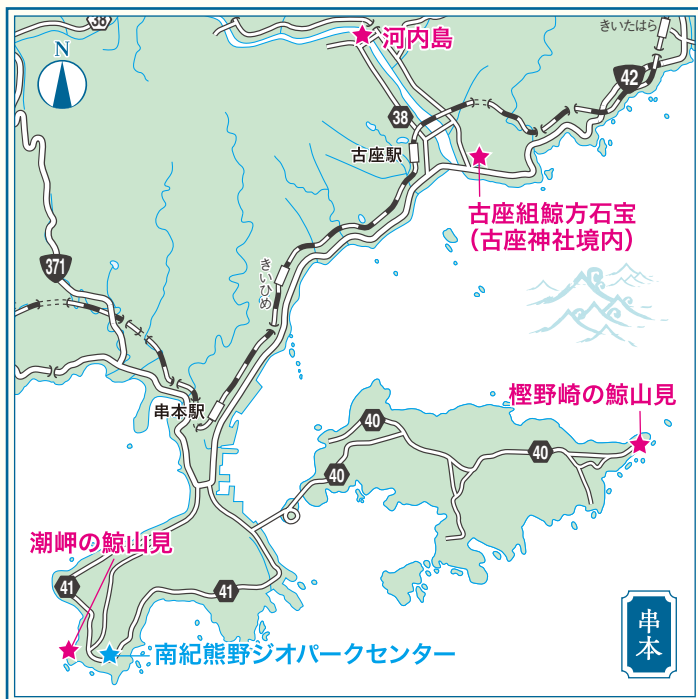
太地町立
くじらの博物館
くじらグッズ



知らないオドロキが色々

聖地リゾート!!!!
和歌山

周遊スタンプラリー チェックインスポットMAP(全20箇所)



★…日本遺産「鯨とともに生きる」構成文化財 ★…その他

チェックインスポットの構成文化財については右記二次元コードをご参照ください。

※一部チェックインスポットではない構成文化財も掲載しておりますのでご注意ください。

日本遺産「鯨とともに生きる」構成文化財▶



日本遺産「鯨とともに生きる」

紀伊半島南東部、熊野灘沿岸地域では、江戸時代初期に組織的な捕鯨が始まり、地域の一大産業へ発展。大いなる海の恵みは人々の暮らしを支え、一方で人々は鯨に感謝し、巨体を余すところなく活用してきました。そして現在でも捕鯨が続けられ、地域には鯨とともに生きてきた歴史を示す史跡や食文化、伝統芸能などが受け継がれています。こうした捕鯨文化のストーリー「鯨とともに生きる」は、2016年4月、文化庁の日本遺産に認定されて今年で10周年を迎えました。

注意事項

- 各チェックインスポットの営業時間等が異なりますので、ご訪問の際は最新情報を各施設のホームページ等でご確認ください。
 - システムの仕様上、一度消えてしまったスタンプの獲得履歴を復元できない場合がございますので、ご注意ください。
 - 本企画については予告なく中止・変更する場合があります。
 - 景品の内容は予告なく変更する場合があります。
 - 景品の発送は国内に限ります。
 - 参加中のけが、事故などにつきましては、当方は一切の責任を負いません。
 - 応募により取得した個人情報は、当方にて適切に管理し次の用途のみに利用します。
- (1) 景品の抽選・発送 (2) 問い合わせ (3) 統計資料作成
- ※但し、法令により開示を求められた場合や裁判所、警察等の公的機関から開示を求められた場合は、応募者の同意なく個人情報を開示する場合があります。



問い合わせ先

熊野灘捕鯨文化継承協議会(和歌山県東牟婁振興局地域づくり課内)
TEL:0735-21-9649 MAIL:e1307201@pref.wakayama.lg.jp

鯨とともに生きるホームページ